

えにわ 市議会だより

No. 117

令和4年8月1日 発行

令和4年 第2回 定例会

議決した議案	P2~3
請願・陳情・意見書	P3
議案等審議結果	P4
政務活動費収支報告	P4
一般質問	P5~11
議会日誌	P12



恵庭市議会文化芸術回廊 オープニングセレモニー
(4月22日)



議会改革メンバーと議会モニターとの意見交換会
(5月12日)



恵庭市議会議場コンサート《試行》
(6月6日)



ガーデンフェスタ北海道2022 オープニングセレモニー
(6月25日)



6月25日から7月24日までの間、花の拠点「はなふる」をメイン会場に開催された第39回全国都市緑化北海道フェア“ガーデンフェスタ北海道2022”では、全国最大級の花や緑に関するイベントとして、道内をはじめ国内外から多くの皆様が来場され、恵庭の花のまちづくりがさらに全国の人たちに伝わる素晴らしいイベントとなりました。

市議会facebook
アクセスQRコード



6月 定例会

人権擁護委員候補者の推薦の同意など議案10件を可決

令和4年 第2回定例会を終える

令和4年恵庭市議会第2回定例会は、6月6日から6月22日までの17日間の会期で開催されました。

今議会では、本年度補正予算及び人権擁護委員候補者の推薦の同意をはじめ、条例改正などの議案10件が提案され、原案通り可決（同意）されました。

一般質問は6月9日から13日までの3日間に、12名の議員が質問を行いました。

今議会中に市民の皆様から提出された4件の陳情書は、審査の結果4件が不採択となりました。また、議員から提出された7件の意見書は全て可決され、衆・参両院議長、内閣総理大臣及び関係大臣、北海道労働局長、北海道地方最低賃金審議会会長宛に送付しております。

議決した議案

補正予算

▼一般会計（第2号・3号）

雪害により破損した地域会館の修繕における地域活動推進事業費の増額、ワクチンの4回目接種の実施に伴う新型コロナウイルスワクチン接種事業費の増額、低所得の子育て世帯への給付金支給事業の実施に伴う増

額、保育士・幼稚園教諭等の処遇改善に伴う子どものための教育・保育給付費の増額、特殊詐欺等防止対策機器導入費補助金の増額に伴う消費者対策費、食料価格高騰に対応する食料購入費支援の追加に伴う教育・保育施設食料高騰対策事業費及び学校給食食料高騰対策事業費など総額7億7171万2000円の補正となりました。

（以上2件 全会一致）

科目(款)	補正額(千円)	補正予算明細内訳
総務費	191,952	会計年度任用職員管理費、地域活動推進事業費、公共施設等管理保全基金積立金、まちづくり推進基金積立金
	339,765	新型コロナウイルスワクチン接種事業費、学校感染予防対策事業、子育て世帯生活支援特別給付事業費
	6,632	消費者対策費・生活困窮者自立支援金支給事業費
	37,491	教育・保育施設食料高騰対策事業費・学校給食食料高騰対策事業費、子育て世帯臨時特別給付事業費
民生費	11,408	社会福祉事業推進基金積立金、通いの場認知症支援強化事業費、学童クラブ運営費
	59,316	子どものための教育・保育給付事業費、子育て基金積立金
衛生費	38,267	予防接種事業費・スポーツ振興基金積立金
	1,300	リサイクルセンター運営管理費
農林水産業費	6,207	農業振興基金積立金
	59,484	農業振興対策事業費
消 防 費	900	災害対策費
教 育 費	14,434	高等学校等入学準備金基金積立金、学校管理費、学校図書館費、青少年・文化振興基金積立金
	4,556	教員住宅維持管理費、夢創館運営事業費、公民館管理費
計	771,712	

人 事

▼人権擁護委員候補者の推薦の同意について

阪井 すみ子 氏（再任）

本年9月30日に任期満了を迎えることに伴い、委嘱手続に3か月ほどの期間を要することから、今議会にて提案され推薦に同意したもので、任期は3年になります。

（以上1件同意 全会一致）

条 例

▼恵庭市職員の給与に関する条例の一部改正について

寒冷地手当の支給方法について、人事院規則で定める内容に準拠するため、これまでの10月1日の基準日に当該年度の手当を一括支給する方法から毎年度11月から翌3月までの各月に分割額で支給する方法に改めるものです。これに伴い「勤務1時間あたりの給与額」に寒冷地手当を加算する改正を併せて行なったものです。

▼ 恵庭市税条例の一部改正について

税制改正による地方税法等の改正に伴い、市税条例の改正を行うもので、不動産登記法の改正に伴う納税証明書に記載する住所の取扱いに関する改正や個人の市民税の非課税の範囲の見直しに伴う改正、特定配当等に係る課税の取扱いについて、確定申告書の記載により適用方法を決定する規定の整備などについて所要の改正を行ったものです。

▼ 恵庭市都市計画税条例の一部改正について

令和4年度税制改正に伴う条例改正であり、貯留機能保全区域に係る固定資産税等の特例等の新設による規定の追加と以降は法改正等に伴う引用番号等の修正のため所要の改正を行ったものです。

▼ 恵庭市重度心身障害者及びひとり親家庭等医療費の助成に関する条例の一部改正について

高齢者の医療の確保に関する法律の改正に伴い、重度心身障害者医療費助成の窓口負担額が2割になる人について、後期高齢者医療保険において、自己負担額が1割となるように受給者証を発行するため、所要の改正を行ったものです。

(以上4件 全会一致)

その他の議案

▼ 財産の取得について

- ・ 財産の種類 学校学習用コンピュータ 1565台
- ・ 契約金額 1億401万6000円
- ・ 契約の相手方 野村家電販売株式会社
- ・ 取得目的 市内小学校における学習用コンピュータ整備

▼ 北海道市町村職員退職手当組合規約の変更について

本市が加入している北海道市町村職員退職手当組合に、新たに「上川中部福祉事務組合」が加入するため、規約改正に係る協議があったことから議決を求めたものです。

▼ 北海道市町村総合事務組合規約の変更について

北海道市町村総合事務組合は、非常勤消防団員等の公務上の損害賠償等に関する事務を共同処理することを目的に設立されていますが、当該事務組合に「上川中部福祉事務組合」が加入したことに伴い、規約の関係部分を変更するものです。

(以上3件 全会一致)

報告

▼ 専決処分の報告について

除雪作業中の直営除雪車が道

路脇に設置されたゴミステーションを損傷させた事故で、市は運転上の瑕疵を認め、損害を賠償したものです。

▼ 賠償額 15万4千円

▼ 専決処分の報告について

桜町多目的広場において、河川管理標識を保護している塩ビ管の穴につまづいたことにより利用者を負傷させた事故について、市は公園管理上の瑕疵を認め、その損害を賠償したものです。

・ 賠償額 4万5477円

▼ 専決処分の報告について

恵庭市営住宅福住団地2号棟物置及び駐車場において、物置屋根からの落雪により、同棟入居者所有の軽自動車を損傷させたもので、市は管理上の瑕疵を認め、その損害を賠償したものです。

・ 賠償額 38万9642円

▼ 令和3年度恵庭市一般会計予算の繰越明許費について

感染防止対策協力支援金支給事業費など、総額19億1861万2283円を令和4年度に繰越したものです。

▼ 令和3年度恵庭市下水道事業会計予算の繰越について

管渠整備事業における国庫補助事業の追加採択により分流化の促進を図るため、2億7997万1000円を令和4年度に

繰越したものです。

(以上5件 全会一致)

請願・陳情

不採択4件

▼ 食料の自給率向上を国政の柱に据える政治転換を求める意見書の提出を求める陳情書

▼ 全国一律最低賃金制度の実施をめざす意見書の提出を求める陳情書

▼ 急激な物価高騰からくらしと営業を守る緊急の経済対策に関する意見書の提出を求める陳情書

▼ 18歳・19歳のアダルトビデオ出演契約の未成年者取消権と同等の法整備を求める意見書の提出を求める陳情書

(以上4件 賛成少数)

意見書

可決7件

▼ 環境教育の推進及びカーボンニュートラル達成に向けた学校施設のZEB化のさらなる推進を求める意見書

▼ 地方公共団体情報システムの標準化に向けての意見書

▼ 2023年度地方財政の充実・強化に関する意見書

▼ 義務教育費国庫負担制度負担率1/2への復元、教育予算拡充に向けた意見書

▼ 森林・林業・木材産業によるグリーン成長に向けた施策の充実・強化を求める意見書

▼ 2022年度北海道最低賃金改正と中小企業に対する支援の充実を求める意見書

(以上6件 全会一致)

▼ 我が国及び国際社会の平和と安全を確保するための防衛力の抜本的強化を求める意見書

(以上1件 賛成多数)

本会議録画像について

6月6日から22日に行われた議案審議等や一般質問の様子が市議会ホームページでご覧いただけます。ぜひご利用ください。



本会議動画像配信QRコード



常任委員会会議録アクセスQRコード

常任委員会会議録も閲覧できます。

議案等審議結果

※この表は賛否が分かれた案件のみ掲載しています。

議決 月 日	議案名等	議決結果	公明党		恵義会		清和会		公明党		諸派	清和会		歩む会		民主・春風の会		恵義会	清和会		恵義会		
			1 野 沢 宏 紀	2 小 橋 薫	3 南 出 典 彦	4 宮 利 徳	5 松 島 緑	6 生 本 富 士 代	7 岩 井 利 海	8 石 井 美 季	9 前 田 孝 雄	10 新 岡 知 恵	11 柏 野 大 介	12 武 藤 光 一	13 澁 谷 敏 明	14 川 股 洋 一	15 長 谷 文 子	16 市 川 慎 二	17 早 坂 貴 敏	18 伊 藤 雅 暢	19 川 原 光 男	20 林 謙 治	21 鷹 羽 茂
6/22	食料の自給率向上を国政の柱に据える政治転換を求める意見書の提出を求める陳情書	不採択	議	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×
6/22	全国一律最低賃金制度の実施をめざす意見書の提出を求める陳情書	不採択	議	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×
6/22	急激な物価高騰からくらしと営業を守る緊急の経済対策に関する意見書の提出を求める陳情書	不採択	議	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×
6/22	18歳・19歳のアダルトビデオ出演契約の未成年者取消権と同等の法整備を求める意見書の提出を求める陳情書	不採択	議	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×
6/22	我が国及び国際社会の平和と安全を確保するための防衛力の抜本的強化を求める意見書	可決	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○

凡例：議……議長 ○……賛成 ×……反対 欠……欠席 除……除斥 退……退席

令和3年度 政務活動費の収支報告

議員の調査研究活動に資する経費として、各会派に対し議員1人当たり年額15万円に所属議員数を乗じた額を政務活動費として交付しています。各会派から支出した領収書等の証拠書類と併せて、収支報告書が議長に提出されましたのでお知らせいたします。

(単位:円)

会派名(人数)	交付額	執行額							返還額
		調査研究費	調査旅費	資料作成費	資料購入費	広報費	広聴費	計	
自由民主党清和会(8月まで6人、9月から8人)	1,171,403	0	0	0	0	406,267	0	406,267	765,136
自民党恵義会(5月6人、6月5人、8月から4人)	628,597	0	0	0	0	451,203	1,900	453,103	175,494
公明党議員団(3人)	450,000	0	0	0	0	0	0	0	450,000
民主・春風の会(2人)	300,000	0	0	0	51,326	183,784		235,110	64,890
市民と歩む無党派ネットワーク(2人)	300,000	0	0	0	0	300,000 (315,508)	(2,550)	300,000 (318,058)	0
親和会(1人)	150,000	0	0	0	0	0	0	0	150,000
市民希望の会(1人)	申請辞退	-	-	-	-	-	-	-	-
計	3,000,000	0	0	0	51,326	1,341,254	1,900	1,394,480	1,605,520

※市ホームページ議会アクセス(<http://www.kensakusystem.jp/eniwa-vod/>)でご覧になれます。

恵庭市議会文化芸術回廊に市内作家の作品を見学に来ませんか

市役所3階の議場正面入口前の廊下に開設された「恵庭市議会文化芸術回廊」は市民に開かれた議会を目指す、議会改革推進協議会の提案により実現したものです。市民が気軽に来庁され、気軽に議場に足を運んでいただくための取組として、絵画・書道・写真・パッチワークなどを展示。市内の芸術家の作品を見学していただくことにより、市民の文化交流の場としても期待されています。この文化芸術回廊は、平日の8時45分から17時15分までの間、どなたでもご自由に鑑賞できますので、是非一度足を運んでみてはいかがでしょうか。ただし、議会中は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点により議場ドアを開放する場合がありますので、その場合においては作品を見学することができませんので、議会中は議場の傍聴席において議会の見学をお勧めします。詳しくは、議会事務局(TEL.33-3131 内線.3211・3212)までご確認ください。



一般質問



本会議会議録
QRコード



「第2回 定例会(初日の議場)」

一般質問は、議員が市の行財政運営やまちの将来展望について質問し、行政の機能や疑問点をチェックするために行うものです。第2回 定例会の一般質問では、12名の議員が市の行財政運営や施策の評価・成果に関して様々な視点からの質問を行いました。

5～11ページに一般質問の要約を記載しています。詳細は市のホームページや図書館でも閲覧できます。



民主・春風の会 武藤光一 議員

「恵み野地区エリアマネジメント」について

問 「恵み野地区まちづくり意見交換会」の開催の経緯、背景、進捗状況について伺います。

答 恵み野駅東口商業地区では、駅通りに建設された建物の外壁後退問題から、近年経営者の高齢化による店舗維持、住宅化への問題、さらに一部住民からの縁石切下げ要望などから開発当初のルールの形骸化と景観維持への危惧を発端に意見交換会を今年1月から4回開催し、駅通りに関する様々な意見交換を経て新たなルール作りに関する準備会へ移行し、今後設立予定の協議会への参加や景観維持等への協定案策定に向け調整中と伺っています。

問 現時点で議論している今後の取組みや基本的な考え方、方針などについて伺います。

答 意見交換会では、駅通りの景観維持が重要であり、特に店舗数の維持や外壁後退の遵守、事業承継や空き店舗対策のための様々な方策や方針、新たなルール作りへの考え方などが議論されています。

問 関係団体の合意形成が重要となりますが、現時点の市への要望と市の対応方針、考え方を伺います。

答 会からの要望は今後協定やルールが作られる前提として①駅通りの店舗情報の共有やチェックする仕組みとそのための方針②店舗の外壁後退に関する地権者と地域、市との三者協定や税制上の特典③店舗承継や新規開業に関する現行補助制度の紹介④駅通りの新たな駐車場の確保③以外は時間を要する内容もあり、今後の推移状況により適切な対応を考えていきます。



花さんぽ通り

◆**その他の質問項目**

- ・読書活動の現状、R3年度全国学力・学習状況調査、R3年度全国体力・運動能力・運動習慣等調査、新型コロナウイルス感染症



民主・春風の会 澁谷敏明 議員

「移住・定住促進施策」について

問 移住・定住施策の推進に向けた各世代のニーズ把握と今後の課題について伺います。

答 本市の移住相談者アンケートでは「移住先で重視すること」として、各世代とも「空港や大都市に近い」が最も多く、次いで「仕事がある」「医療・福祉が充実」となっています。特に子育て層を中心とする若者世代は「仕事」についての相談が多く、移住希望者への就業サポートの充実が課題と考えています。

問 子育て層を中心とする若者世代は仕事についての相談が多い状況ですが、これらに対してどのような施策を行ってきたのか伺います。

答 子育て層でニーズが高い仕事に対する相談に対しては、移住者向け求人情報を収集し冊子やホームページで提供しています。東京などでの相談会ではキャリアアドバイザーが同席しての就業相談や希望者には継続した相談や企業などへのマッチングサービスを行っています。

問 新型コロナウイルスの影響もありテレワークが増加する中、今後も引き続き社会情勢や移住希望者のニーズにあった移住施策が重要と考えますが、ご所見を伺います。

答 ウェブサイトや相談会を通じ、市内の生活情報や不動産情報を提供すると共に移住希望者の個々のニーズに対応して市内を案内するオーダーメイドツアーやオンライン個別相談会を行うなど、様々な移住定住の取組を進めてきました。今後も、社会情勢を見ながら国の制度も活用し、継続的にニーズにあった移住施策を進め、そのことが人口増加につながれば大変すばらしいと思っております。



窓口での移住・定住相談の様子

◆その他の質問項目

子ども関連施策について、消費者教育の推進について、令和4年度組織機構にかかる職員配置数について、市民協働のまちづくりについて



市民と歩む会 柏野大介 議員

障がい者就労の拡大について

問 コロナ過の影響もあり、障がいのある方が、一般就労に至ることは以前にも増して容易ではありません。就労機会の確保を進めるため、これまで以上に経済部との連携を強化し、労働施策からも企業の理解促進に努め、雇用する企業を増やすことが必要だと思えますが、これまでの取組みについて伺います。

答 一般就労に係るものとして令和3年度から、障がい者総合相談支援センター「eふらっと」と共同で市内企業を訪問し、障がい者の職場開拓などについて説明を行っています。eふらっとでは、障がい者の就労相談を行っており、令和3年度の就労相談では、実人数が100名、延べ相談数が617件で、その内5名が一般就労につながっています。

問 障がい福祉プランにも記載の通り、高工労働課との関りは非常に重要です。市内企業に法定雇用率を達成してもらうために、ハローワークとどう連携し、働きかけを行っているのか伺います。

答 ハローワークとの連携は、毎月雇用状況の報告があり、障がい者雇用については、コロナ禍の影響もあり難しいところですが、再度、助成制度や法定雇用率について企業側に周知と働きかけを行っています。



障がい者総合相談支援センター eふらっと

問 道内自治体でも身体障がいの方がほとんどで、知的・精神障がいの方は少ない状況にあります。この傾向は企業も同様です。障がいへの理解が広がっていないと思いますが、精神に絞ってまずは短時間で働いてもらい、その中から職場の理解を広げていくような取組みが必要だと思えますが、考えを伺います。

答 市役所においては、まずは法定雇用率を目標にしますが、法定雇用率さえ充足すればいいというものでもないと考えていますので、障がい者雇用についてどのようにあるべきか、逐次検討して参ります。

◆その他の質問項目

投票率向上に向けた取り組みについて



市民と歩む会

新岡知恵 議員

子どものマスク着用について

問 マスクを着用していない子ども同士で注意し合うために、マスクを外せないケースもあると聞きます。事情があつてマスクをしていない子に対して、場合によってはいじめや差別につながる可能性が心配されます。市教委の考えを伺います。

答 マスクをできない子、着用しない子など、様々な事情があることを認識しています。そのことによつて、いじめや差別があつてはならないので、学校としっかり連携して対応したいと考えています。

問 適切なマスク着用を徹底させるためには、保護者や地域の大人たちも正しい情報を共有することが重要。正しい感染対策について、医療従事者などを交え、地域の大人たちが協議する場が必要と思いますが、ご所見を伺います。

答 学校の衛生管理マニュアルや道教委からの通知、さらには庁内対策本部会議において検討協議した結果を学校長へ通知してきましたが、今後は、必要に応じて学校医やPTA、コミュニ

ティースクールとも相談して保護者等に発信したいと考えています。

問 本来、子どもを守るためのマスク着用によつて、子どもの心や体が傷つけられるようなことがあつては本末転倒。子どもの健康優先のマスク着用といじめや差別が起きないようにするという市教委の考えをメッセージとして発信していただきたいと思いますが、ご所見を伺います。

答 マスク着用について、いじめや差別につながるような徹底することは、児童生徒はもちろん、保護者や地域に対して理解を求めるべきと認識しています。市教委からメッセージを発信するなど、より理解を求める方を検討していききたいと考えています。



マスクを外しての部活動のイメージ

◆その他の質問項目

・住宅困窮者への対応について、公共施設の利便性向上について



自由民主党清和会

宮利徳 議員

生徒のニーズを踏まえた環境の整備について

問 本市では「恵庭市立学校における部活動の在り方に関する方針」を策定。趣旨には持続可能な部活動の在り方について検討し、速やかに改革に取り組む必要があると示されていますが、これまでの検討・取組み状況について伺います。

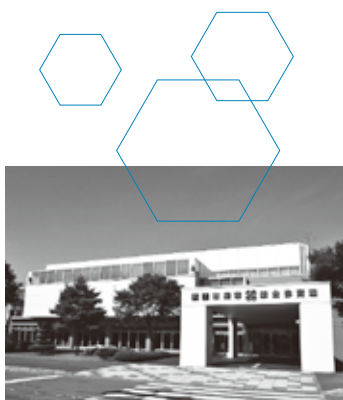
答 本方針策定後、各中学校では部活動方針を策定し運営や指導を行っているとともに、部活動ごとの活動計画に基づき、教職員や生徒の負担が過度にならないよう配慮し、効率的で効果的な部活動の運営に努めています。令和4年度は部活動指導員を3校に配置し、保護者や地域の方によるボランティアの外部指導者の支援も受け、教職員の負担軽減に向けた環境整備をしています。

問 地域との連携において学校と地域が協働し地域で持続可能なスポーツ・芸術文化等の活動のための環境整備を進めるとしていますが、これまでの検討・取組み状況について伺います。

答 ボランティアの外部指導員による指導等を地域の方々にも協力いただき

ながら、ニーズに応じた部活動の運営を行つており、地域と協働した部活動の在り方を市内の総合型スポーツクラブと情報共有や意見交換を行ったところです。

問 スポーツ庁の部活動の地域移行に関する提言では、市町村は地域スポーツ団体や学校関係者からなる協議会を設置し検討して実施すると記載されています。具体的な協議を進めるため、新たな協議会の設置が必要だと考えますが、ご所見を伺います。



総合体育館の外観

答 部活動の地域移行を検討するため、種目ごとの協議体制や指導者の人材確保、生徒ニーズの把握は重要と考えているので、今後しっかりと検討して行きたいと考えています。

◆その他の質問項目

・市営住宅の在り方について



自由民主党清和会 南出典彦 議員

ワーケーションの取り組みについて

問 本市のワーケーションの取り組みについて、北海道型ワーケーションへの申請・登録時期、北海道ワーケーションポータルサイトへの掲載時期について伺います。

答 令和3年12月に北海道型ワーケーションに申請と登録をし、令和4年3月にはポータルサイトに本市の体験プログラムや各種施設、自然環境等の情報を掲載し発信しています。

問 このポータルサイトについて、もう少しオリジナリティ、地域性を前面に出す内容にできないかと思えます。本市の優れた部分に内容を変更したほうが恵庭の魅力が伝わると思いますが、ご所見を伺います。

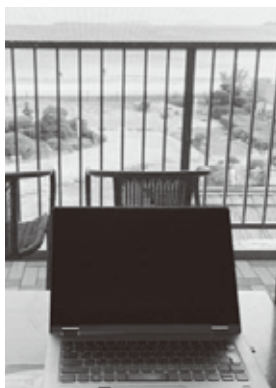
答 ポータルサイト内のコンテンツの修正・追加は可能と考えています。他市町村とは違う恵庭らしさやオリジナリティをどれだけ増やすかが今後の課題であると認識しています。

問 ワーケーションへの積極的な取り組みを勧める理由は、宅地の急激な価格上昇や大規模な住宅団地造成などが

見込めない現状で、今後の転入者増の一策として有効と考えているからです。ワーケーションを恵庭での新しいライフスタイルの提供の場として捉え、交流人口拡大により、新たな移住者、企業誘致にもつながると思いが、ご所見を伺います。

答 ワーケーションの取組は短期的には市内消費による経済活性化や、長期的には移住人口の増加や企業誘致にもつながるものと期待しています。今後、更に加速させていくためには差別化した恵庭らしいコンテンツや検討企業への情報提供が重要と考えています。今後も道と連携しポータルサイトなどを通じて魅力ある情報を共同で発信したいと考えています。

※ワーケーションとは、「ワーク」と「バケーション」を合わせた造語。観光地などでテレワークを活用し働きながら休暇をとる過ごし方。



ワーケーションイメージ写真

◆その他の質問項目
・恵庭市公式アプリについて



自由民主党清和会 長谷文子 議員

「ガーデンフェスタ北海道2022」の現状と「はなふる」周辺の将来の展望について

問 フェア終了後の「はなふる」の利活用を含めた、市の考え方について伺います。

答 「はなふる」は市民の憩いの場となる広場に加え、恵庭のオーブンガーデンを思わせる暮らしの庭やテーマ性のある庭を配置するなど花のまち恵庭を体感しながら滞留し、市内観光資源や観光施設への周遊を促す観光交流拠点でもあります。ハード面においては継続して維持していくこと、ソフト面ではイベントの継続的な実施が重要と考えています。「はなふる」を未来に引継ぐ取組として、新たな収益施設の誘致や花とくらし展の発展的・継続的な実施を検討し、引き続き「はなふる」が賑わいの拠点となるように取組を進めて参りたいと考えています。

問 財源の確保として、募金や協力金、センターハウスのネーミングライツについて企業がガーデンフェスタに来た際に建物や集客を見て、自分の会社の名前を付けたいと思うような企業

も無きにしても非ずだと思えますが、ネーミングライツについての考えを伺います。

答 センターハウスにつきましては、公園のシンボリックな建物ということもありますので、来訪者にとつて分かり易い建物である必要があると思えます。一般的に建物の認知度向上のツールとしてネーミングライツ制度の導入は有効と認識していますが、導入にあたっては、ガイドラインに則った検討が必要となることもありますので、関係部署と調整を行いながら、課題の整理や先進地の事例なども参考に調査研究して参りたいと考えています。



「はなふる」を空から望む

◆その他の質問項目
・公園管理の在り方について



自由民主党清和会 早坂貴敏 議員

適応指導教室の現状と課題について

問 本市では、何らかの理由により学校に通うことのできない子どもたちを対象に、適応指導教室「ふれあいルーム」を開設していますが、現状と課題について伺います。

答 一日あたりの利用人数の平均は令和元年度が6.7人、令和2年度が10.7人、令和3年度が12.3人であり、年々増加しております。このまま増え続けると施設の狭隘化や児童生徒一人ひとりの学力の定着を目指した指導時間が短くなるなど、十分な支援が行き届かなくなることが課題と考えています。

問 不登校の割合が増えており、非常に心配な状況になっていると思います。5年前と比較して、どの位の割合で増加しているのか伺います。

答 不登校児童・生徒の5年前との比較ですが、小学生で約5倍、中学生で約1.7倍に増えている状況です。

問 今後のふれあいルームの在り方について、例えば現状のふれあいルームを増築するという考え方もあります

が、子どもたちの視点や立場で考えたときに、例えば恵庭、恵み野、島松と3地区にそれぞれ通える場所があるとか、分散していくというような考え方もあると思いますが、今後どのような対応策を講じていくのか伺います。

答 施設の狭隘化対策として、現在の施設の増改築や適応指導教室の複数設置を検討してきましたが、現在は学校内に適応指導教室を設置することも検討しております。

今月から島松小学校内に、校内適応指導教室を試行的に開設しています。開設時間は、児童の登下校する時間帯を外した時間設定とし、スクールソーシャルワーカーが学習支援を行うといった取組を行っています。



適応指導教室の室内

◆その他の質問項目
・人口ビジョンの成果と課題について、駐車場事業の課題と今後の方向性について



自民党恵庭支部 川原光男 議員

恵庭市民スキー場の通年での利活用について

問 都市計画での東西軸では、「自然や景観を活かした公園」や「レクリエーション空間」もまちづくりの基本的な考えとしてあります。恵庭市民スキー場の通年の利活用もそれに沿ったまちづくり事業につながると思いますが、考えを伺います。

答 令和3年版都市計画マスタープランでは、新たなまちづくりの基本的考え方である「ガーデンシティの確立」の実現に向け、新しく位置づけした概念が「東西軸」であり、恵庭市民スキー場を含む盤尻地区も含まれています。地域のまちづくりや土地利用の可能性について庁内に横断的な検討の場を設け、協議を進めることとしております。恵庭市民スキー場は貴重な資源であり、観光・レクリエーションなど様々な利活用について検討を図って参ります。

問 現在、市民スキー場は植栽されたルピナスの群生が広がっており、開花時期には、一見の価値を生み出すと思っています。秋には斜面にスキーが乱立しています。市街地から近い距離にあり、レクリエーションとしては、高い潜在的

能力があると思っていますが、市民スキー場の空間の都市マスタープランに関わる進行管理について、どのように考えているか、伺います。



恵庭市民スキー場 ルピナスの群生

答 恵庭市民スキー場は、都市計画マスタープランの東西軸を形成する重要な施設だと考えております。その利活用に向けて、多くの可能性を認識しています。恵庭市民スキー場を含めた盤尻地区全体のまちづくりについては、今年度から外部の方も入れての検討会議を立ち上げ、検討を進めたいと考えています。会議では盤尻地区の観光振興、まちづくりについて広く議論いただき、その中で恵庭市民スキー場の位置づけも併せて検討していく場にした

◆その他の質問項目
・まちづくりの視点「人と人とのつながり」について、マイナンバーカードの普及促進事業について



自民党憲義会

川股洋一 議員

有害鳥獣対策について

問 本市においても、有害鳥獣による農作物等の被害が発生していますが、有害鳥獣の現状及び対策について伺います。

答 農業被害につきましては、エゾシカ、キツネ、アライグマ、カラス類によるものが主であり、食害や踏み付けなどによる農業被害額は、1007万9000円となっております。有害鳥獣は、農業者からの依頼により駆除を実施し、令和3年度は257件の駆除依頼があり、実績についてはエゾシカが245頭、キツネが139匹、アライグマが234匹、カラスが850羽の駆除実績となっております。前年と比較するとエゾシカとアライグマが増加し、キツネ、カラスは減少しています。有害鳥獣対策については駆除委託業者及び恵庭市有害鳥獣対策連絡協議会による鳥獣被害防止総合対策交付金を活用した駆除と農業者自らが行う防止策を支援する取組として電気牧柵等の購入やくくり罠の免許取得に要する費用の助成を行っており、令和3年度は4件の農業者に助成しています。

問 アライグマは、箱罠での駆除とのことですが、銃器の使用がなく安全であるならば、猟友親睦会でなくとも、

行政や農業団体、地域などにおいて狩猟免許がなくても敷地所有者の許可や自治体の定める方法であれば、罠を設置し薬殺以外の許可される方法で駆除することが可能だと思われませんが、考えを伺います。

答 本市でのアライグマ駆除については、箱罠を使用することから鳥獣保護管理法により、原則的な猟免許所持者でなければ、駆除はできませんが、特定外来生物に指定されていることから外来生物被害防止法の駆除実施計画に基づき、自治体が行う講習を受講し防除従事者に登録された場合に、わな猟免許がなくても駆除が可能です。



有害鳥獣であるアライグマ

◆その他の質問項目
・公営住宅管理計画について、子育て世帯への支援施策について



公明党議員団

生本富士代 議員

地域防災力向上の取り組みについて

問 町内会における自主防災組織の現状と課題について伺います。

答 現状といたしまして、61町内会のうち42町内会で自主防災組織が設置され、本年4月1日の世帯カバー率は87%となっております。課題としては、近年、組織化が鈍化傾向となっており、未組織の地域における防災力の向上を更に進めるため、ハザードマップ上でリスクの高い地域に、直接働きかけるなど新たな取組が必要と考えています。

問 以前、市で地域防災マスター研修会を行い100名以上の方が認定を受けたと聞きましたが、それだけの人数の方が、地域の人材としていられるのであれば、活躍の場を設け、実践できる場があると良いと思いますが、ご所見を伺います。

答 地域防災マスターは北海道の制度で、道が主催して研修を実施し一定の知識を得た方を認証する制度となります。マスターの皆さんには各自自主防災組織で主導的な役割を果たしていただき、地域における訓練や啓発活動にご協力いただいているところです。今後、北海道に

お願いしながら知識の維持のための研修を実施し、地域の貴重な人材として連携を取りながら防災力の向上を図って参りたいと考えています。



自主防災組織イメージイラスト

問 防災に関して女性の意見を反映する具体的な取組について、ご所見を伺います。

答 地域の防災活動において女性の視点を取り入れた対策は非常に重要であり、女性を中心とした様々な市民団体による、防災について話し合う場を設定する必要があると考えています。顔の見える関係を築き、防災知識を深めていただき、そこで得られた意見を防災会議へつなげ、本市の防災力の基盤を高めて参ります。

◆その他の質問項目
・子どもの相談支援体制について、「恵庭子ども未来提言書」について



公明党議員団 松島 緑 議員

女性のデジタル人材育成と就労支援について

問 女性のデジタル人材の育成と就労支援について伺います。

答 本年4月に国の男女共同参画会議で決定された「女性デジタル人材育成プラン」において人材の育成のため「デジタルスキル習得支援」及び「デジタル分野への就労支援」の両面から国、自治体、企業等が連携して取組を進めていくとされています。本市としては、このプランが策定されて間もないことから具体的な取組は行っていませんが、今後、関連施策や他自治体の取組等を参考に市の施策について調査・研究を進めていきたいと考えています。

問 政府はデジタル技術による地方活性化を目指すためデジタル田園都市国家構想を取りまとめ、人材育成の目標を掲げています。コロナ過で多くの働き方が見直され、テレワークを取り入れる企業が増えつつあるのが現状です。女性のデジタル人材育成がなぜ必要なのか伺います。

答 デジタル分野での女性の就労が少

ないといったジェンダーギャップがあり、その解消を目指すため女性デジタル人材育成プランとして取りまとめられたと承知しています。

問 国の地域女性活躍推進交付金を活用し、本市としてもデジタル人材育成に、積極的に取り組んでいただきたいと思いますが、ご所見を伺います。

答 市としては、男女共同参画基本計画において、基本目標に「女性の職業生活における活躍の推進」を掲げています。それをもとに自治体DXの実施計画の中に、女性のデジタル人材の育成についても盛り込んでいきたいと考えています。



女性のデジタル人材育成イメージイラスト

◆その他の質問項目

・空き家対策について、高齢者の生きがい・健康対策事業について

早稲田大学マニフェスト研究所の「議会改革度調査2021」で恵庭市議会が道内市では第2位にランクされました

早稲田大学マニフェスト研究所が公表した「議会改革度調査2021」のランキングにおいて、恵庭市議会が道内179市町村中第12位となりました。また道内35市においては、第2位となりました。

議会改革度調査は、全国の都道府県、市区町村の各議会における議会改革の取組状況や傾向を把握することを目的に、2010年以降毎年調査を行っており、情報共有・住民参画・機能強化などの取組を数値化しています。前回、2020年の調査では全国総合223位でしたが、2021年調査では143位となり、順位が上がりました。

今後も「議員自らの意識改革」と「議会改革」という永遠のテーマに議員一丸となって取り組んで参ります。

【ランキング表】

項目	2021年		2022年
北海道エリア (35市)	3位	⇒	2位
北海道エリア (179市町村)	8位	⇒	12位
全国総合	223位	⇒	143位
全国 (分野別) 情報共有	338位	⇒	355位
全国 (分野別) 住民参画	253位	⇒	274位
全国 (分野別) 機能強化	243位	⇒	118位
自治体規模内順位	135位	⇒	77位

個別データ 議会改革度調査 2021

恵庭市議会 様 発行日/2022年06月09日 発行所/早稲田大学マニフェスト研究所 議会改革調査部会

全国総合	都道府県内総合順位	自治体規模内順位
143位 得点: 1313点/9550点 (全国平均: 686.0点 最高: 3473点)	12位	77位

※都道府県/政令市/中核市/一般市/特別区/町村 内での順位

分野別順位・得点		
情報共有	住民参画	機能強化
全国順位 355位 都道府県内順位: 27位 自治体規模内順位: 223位 得点: 218点/1520点 (全国平均: 158.7点 最高: 784点)	全国順位 274位 都道府県内順位: 27位 自治体規模内順位: 147位 得点: 205点/2440点 (全国平均: 135.1点 最高: 1225点)	全国順位 118位 都道府県内順位: 12位 自治体規模内順位: 64位 得点: 890点/5590点 (全国平均: 392.3点 最高: 1950点)

早稲田大学マニフェスト研究所 議会改革調査部会

〒162-0041 東京都新宿区早稲田鶴巻町517-1 ドラード早稲田402
MAIL: mani@maniken.jp TEL: 03-6709-6739

※多数お問合せを頂戴しますので、本件に関して正確な情報をお伝えするために、メールにてお問合せをお願いします。

資料提供: 早稲田大学マニフェスト研究所

議 会 日 誌

4月

- 4 ● 会派交渉会
- 7 ● ※ICT専門部会
- 8 ● 北海道市議会議長会道西支部会議(恵庭市)
- 13 ● 議会運営委員会、第2回臨時会(議案審議)
- 14 ● 議会運営委員会(議会報)、※議会基本条例素案作成部会
- 15 ● 経済建設常任委員会
- 18~20 ● 経済建設常任委員会行政視察(熊本市)
- 21 ● 議会改革推進協議会
- 22 ● 恵庭市議会文化芸術回廊オープニングセレモニー
- 25 ● 総務文教常任委員会
- 27 ● 第85回北海道市議会議長会定期総会(富良野市)

5月

- 9 ● ※議会基本条例素案作成部会、※女性・青年部会
- 10 ● ※ICT専門部会、議会災害対策会議
- 12 ● 議会モニター意見交換会
- 13 ● ※議員報酬及び定数のあり方検討部会視察(石狩市)
- 17 ● 議会運営委員会
- 18 ● 全国市議会議長会基地協議会正副会長・監事・相談役会(久留米市)
- 19 ● 熊本市議会へ議長が表敬訪問
- 24 ● ※議会沿革・図書室活性化専門部会、会派交渉会
- 25 ● 全国市議会議長会第98回定期総会(東京国際フォーラム)、福岡県柳川市議会行政視察来恵
- 26 ● ※女性・青年部会
- 27 ● 議会改革推進協議会
- 31 ● 議会災害対策会議

6月

- 3 ● 議会運営委員会
- 6 ● 議場コンサート(試行)、第2回定例会初日(行政報告・議案審議)
- 7 ● 補正予算審査特別委員会
- 8 ● 議会運営委員会
- 9~13 ● 一般質問
- 13 ● 議会運営委員会(意見案調整)
- 15 ● 総務文教常任委員会
- 16 ● 厚生消防常任委員会
- 17 ● 経済建設常任委員会
- 20 ● 基地特別委員会、柏陽・恵央地区まちづくり特別委員会
- 21 ● 議会運営委員会
- 22 ● 第2回定例会最終日(審査報告・議案審議)
- 24 ● 山口県和木町長・議長の表敬訪問、静岡県藤枝市長・議長の表敬訪問
- 25 ● 神奈川県横浜市会議長の表敬訪問

7月

- 5 ● 全国市議会議長会第228回理事会、栃木県鹿沼市議会行政視察来恵
- 6 ● 北海道幕別町議会行政視察来恵
- 7 ● 北海道中標津町議会行政視察来恵
- 12 ● 全国市議会議長会基地協議会第103回理事会、※議員報酬及びあり方検討部会、会派交渉会
- 14 ● 山口県山口市議会行政視察来恵
- 15 ● 議会運営委員会(議会報)

※は議会改革推進協議会の専門部会

令和4年 第3回 定例会日程

月 日	主な議会日程	場 所
9月13日(火)	定例会招集日(初日)	本会議場
9月16日(金)~ 9月22日(木)	一般質問	本会議場
9月27日(火)~ 9月28日(水)	決算審査特別委員会 (個別質疑)	市民会館 中ホール
10月 3日(月)	総務文教常任委員会	委員会室
10月 4日(火)	厚生消防常任委員会	委員会室
10月 5日(水)	経済建設常任委員会	委員会室
10月 6日(木)	特別委員会	委員会室
10月 7日(金)~ 10月12日(水)	決算審査特別委員会 (代表質疑)	本会議場
10月14日(金)	定例会最終日(議案審議)	本会議場

上記の日程は8月1日現在の予定です。一部変更になることがありますので議会事務局(TEL.33-3131 内線3211・3212)へご確認ください。

恵庭市議会議場コンサート《試行》を開催

当市議会では、市民の皆様信頼され、より開かれた議会を目指しており、市民の皆さんが気軽に議場に来ていただけるような取組として、本定例会の冒頭に「恵庭市議会議場コンサート《試行》」を行いました。バイオリンとバレエが絶妙に溶け込み、優しい調べが議場内を温かく包み込みました。

今回は、第4回定例会での試行を予定し、只今ご出演いただける方を募集しています。詳しくは、議会事務局までお問い合わせください。

☆議会事務局：TEL33-3131内線3211・3212



編集後記

今定例会では、初の試みとして「恵庭市議会議場コンサート」が開催された。多くの市民が気軽に議場へ足を運んでもらい、議会を知ってもらうきっかけにという思いから、議会改革の一環として行われた素敵な取り組みだ。引き続き、開かれた議会となるよう検討していく。

議会改革というと、紙媒体をメインとした情報発信から、市議会ホームページや、会派・個人のSNS、会議録検索システムなどをメインに活用していくことにした自治体もある。何かを始めることはもちろん重要だが、何かを「やめる」という決断はそれ以上に難しく重要だ。少子高齢化が進む限り、財源を増やすことは難しいかもしれないが、支出を減らすことは自分達次第な部分が大い。お金に限らず、時間、気持ちなど、何かをやめることで生まれる「余裕」は今こそ重要だ。市民の健康と安心安全のために、市は何を行いたい、何をやめるべきなのか。その見極めは今後より一層重要となる。未来を担う子どもたちが、花と緑のまちに誇りをもって成長できるように今後も尽力していく。

今号が発行されるころには、終了しているであろう「ガーデンフェスタ北海道2022」の成功を祈りながら。

市議会だより編集委員会
(澁谷 敏明)